

## 珠洲は元気やわいね ART Oku-Noto 2022 秋



珠洲市長  
泉谷 満寿裕

東京奥能登応援団の皆様には、6月19日に発生しました震度6弱の地震に際し、ご心配をいただき、また、ふるさと納税などを通してご支援いただき心より感謝申し上げます。

午後3時8分の発生時、私は市長室にいました。激しい縦揺れでしたので、とつもない被害が発生すると感じ、さすがに血の気が引く思いでした。直後に災害対策本部を立ち上げ、被害状況の確認にあたりました。午後4時過ぎには、馳知事と連絡がとれ、既に防災ヘリを珠洲市に向かわせたとのことでした。国土交通省のヘリも被害状況の確認にあたりいただきました。その日の夕方までには、大きな被害が発生していないことが確認できました。幸い、停電も無く、上下水道管の破断も無いなどライフラインは無事でしたし、道路や橋梁の被害もわずかで、国土交通省のテックフォースのご協力もあり、3日後には市内3カ所の通行止

めも全て解除することができました。しかしながら、飯田町の春日神社と正院町飯塚の火宮神社の鳥居が倒壊し、墓石や住宅の被害が多数発生しました。また、緑丘中学校や飯田小学校など公共施設も被災しました。こうした中、3年ぶりに、飯田燈籠山祭りや宝立七夕祭りが行われました。珠洲市が元気になっていただきましたし、珠洲市が元気であることを広く発信していただきました。飯田町、宝立町の皆さんの心意気に敬意を表したいと思います。

今後、震災の復旧・復興に向けて、風評被害の払拭も大きな課題です。コロナ禍が続いていますが、多くの方々にお越しいただくことが何よりの応援になります。来年9月2日から10月22日にかけて開催する「奥能登国際芸術祭2023」に向けて、本年9月17日から19日までの3日間「ART Oku-Noto 2022 秋」を開催します。皆様のお越しをお待ちしています。

結びに、東京奥能登応援団の皆様には、今後とも「ふるさと奥能登」に変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、東京奥能登応援団の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

### くらむ

### アイデンティティ 54

故郷奥能登とは

点線から実線 そして「無線（―）」  
誰にとっても良きにつけ悪しきにつけともあれ故郷がある。その故郷を出る動機や根拠は意識的か無意識的かあるいは必然か偶然かそれぞれ様々な感慨がある。また生まれ育った所には思い出や心に残る場所がある。

私は一九五八年つまり六四年前に上京した。当時県外への人の流れは関西方面（京都、大阪）が主流で、いわば実線の結びがあり、東京は外国へ行くように感じられしかも怖い所というイメージでまさに点線を引き始め頃であった。長男ということもあって親戚には反対であった。ただし奥能登には就職の場がない。少年の頃泳いでいた見附島の浜に寒風は荒れ狂い岸壁に高波が割れる日、見知らぬ東京行きを決断したことを象徴的に覚えている。幸運にも教員採用試験に受かり爾来教職にかかわる生活を六一年（令和一年まで）続けることができた。

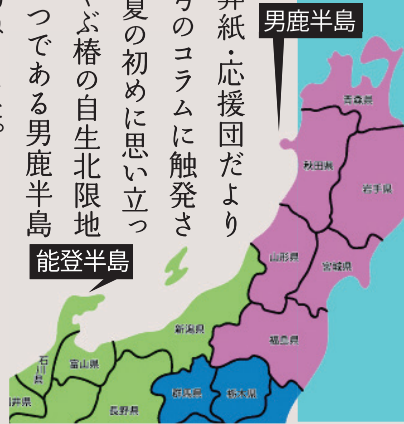
ついつい手前味噌を述べてしまったが、上京した同朋皆さんお一人に、全国で故郷を離れて暮らす人々に、そして能登を守る人達にもそれぞれ、固有の生きた物語がある。それぞれの立つ位置で、ご自分の物語エピソードを反芻してみませんか。

今日、科学技術の進歩によって交通機関も心理的にも奥能登は全国津々浦々と実線で結ばれるようになった。長期化するコロナウイルス感染症に加えてロシアのウクライナ侵攻で閉塞感と先行き不透明な社会動向になっているが、確実にグローバル化や人工知能（AI）の飛躍的な進化は留まるところを知らない。そして情報・通信技術（ICT）は急速な進展を遂げ、勤務体系はおろか社会構造まで変革することになるのではないか。「無線（―）」の世界は遠い夢ではなからう。さすれば、四季豊かな我が奥能登に住み多様な勤務が可能になるであろう。

（押上武文〈府中市〉 宝立町出身）

# 北前船文化を 覽古考新(その①)

弊紙・応援団だより  
55号のコラムに触発され、夏の初めに思い立ってやぶ椿の自生北限地の一つである男鹿半島を訪ねました。



何と、能登と共通する荒波に面して屹立する海岸風景、食文化の魚醬、ナマハゲ(アマメハギ)風習などに目を奪われるばかりでした。北前船の航路で繋がる日本海文化の源に触れる想いを深くしたばかりか、椿が自生する能登山のどやまにまつわる悲恋の民話に耳をそばだてました。

「ディスプレイジャパン」は旧聞のフレーズですが、東北方面を旅行されるときはお寄りいただけばと思うと同時に、「日本海文化」を共有する遠い隣人同士の交流に芽出しができればと願っています。

男鹿半島と能登半島の共通項を列挙しましたのでご覧ください。

## ナマハゲ・アマメハギ

平成30(2018)年に日本各地の「来訪神らいほうしん・仮面・仮装の神々」がユネスコの無形文化遺産として登録されました。

### ■語源■

秋田では、「冬の炉端で長く暖をとっている」と手足に火班ひだこ(ナモミ)などができる」

能登では「囲炉裏や火鉢に長くあたっていると足にアザ状の痕(アマメ)ができる」

と言われ、いづれも、これを剥ぐことにより、「怠け心」を戒めるとされています。



※「来訪神ガイドブック」から引用

輪島(皆月・五十洲及び輪島崎・河井) 男鹿半島の全域  
出現は1月の正月 出現は大晦日の夜  
能登町(秋吉・河ヶ谷・清真・宮犬) 出現は2月の節分

## 魚醬ぎょしょう

ともに日本三大魚醬に数えられる(石川のいしる・秋田のしよつたるへ香川のいかなごししょうゆ)と呼ばれる魚醬の産地であります。



しよつたるは、ハタハタ、いしる(いしり)はイカ、イワシが原料

## ぎばさ・義馬草ギバサ

アカモクを食す伝統が根付いています。

能登では「ぎんばさ」とも称され、神馬藻じんばそうと書いて「じんばさ」、義経伝説に絡めて、「義経の馬の藻」を詰めて「義馬藻ギバサ」などとも呼ばれています。



男鹿半島の能登山のどやまに自生する椿にまつわる「民話」を次号で紹介します。

※男鹿関係観光資料から引用



男鹿・星空の潮瀬崎



能登・夕日の馬縹海岸

## 「ゴジラ岩」と称する奇岩

海岸線に沿って走る道路には漁港や集落が点在し、断崖絶壁の岬や難所の風景と沖に広がる日本海が臨まれ、長年の波浪や風雪で浸食された自然の造形が見られます。





# ART Oku-Noto 2022秋

## 奥能登国際芸術祭

### 常設 18作品特別公開



(会場: 珠洲市全域)

9月17日 3DAYS 9月19日

奥能登国際芸術祭2023開催決定!!



## 石川県立飯田高校同窓会 創立110周年記念行事

10月23日(日)

飯田高校第一体育館

記念式典  
(10:00-)  
記念講演会  
(11:15-)



演題 「過去をふり返って今を考える」(仮題)  
講師 谷 辰夫(飯田高校 10 回生・大谷町出身(我孫子市在住))  
略歴 1966年通産省電気試験所(現産業技術総合総合研究所)入所、エネルギー・環境分野の研究に従事。  
1987年東京理科大学工学部教授、現名誉教授

## 11/27日 みんなで行こう!

### 第16回 全国石川県人会連合会 輪島大会

5年に1度の全国大会は、加賀、金沢、能登を巡回して開催されています。今回はコロナ禍で1年遅れの能登開催です。地元の方を含めどなたでも参加できます。お誘い合わせてご参加ください。

## のと里山空港 応援隊の活動



7. 30-31 石川県空港企画課の出展を応援  
一品川納涼祭<西大井広場公園>にて一

首都圏行事  
のご案内

9月7日(水)~13日(火)▶石川フェア:伊勢丹新宿店本館B1

9月15日(金)~20日(火)▶北陸物産展:東武百貨店船橋店

10月4日(火)~10日(木)▶北陸・信越展:東武百貨店池袋店





加賀藩参勤交代の  
宿舎がご縁

# 鴻巣市に 大谷キリコが登場!!

10/14(金)~16(日)

JR 鴻巣駅東口直結  
ルミネこうのす  
ショッピングモール1階

いしかわ物産展 NOTOモール (能登の物産インターネット販売・  
近くウェブサイトでHPを掲載)

5月3日付北陸中日新聞

境内に植えられたのとキリシマツツジを楽しんだ参加者たち。埼玉  
県鴻巣市で（光真章さん提供）



**珠洲産の花  
埼玉で咲く**

珠洲市から埼玉県鴻巣市の法要寺に移植されたのとキリシマツツジをめぐめる会が同寺であり、珠洲に縁のある関東在住の七人が参加した。法要寺には江戸時代に、予定していた寺に宿泊を拒まれた加賀藩の参勤交代の一行を受け入れたという逸話が残る。数年前、寺の鐘突き堂が偶然に珠洲産の木材で建てられていることを知った東京奥能登応援団代表の光真章さん(左)はその縁を深めようと、珠洲産のとキリシマツツジ六本を四月十二日に移植した。東京珠洲会の笠原英二(会長)らが、小寺秀仁住職の案内で満開になったのとキリシマツツジを観賞。その後、コロナ禍で中止が続く東京珠洲会や飯田高校同窓会東京支部の活動の再開方針について話合った。(上井啓太郎)

交流予定行事

10月1日(土)  
18:00-20:00  
こうのす  
花火大会

世界記録認定の4尺玉



4月29日(金)  
のとキリシマツツジを  
愛でる会  
法要寺鐘撞堂前にて  
(前列：小寺住職・檀家役員)

3年ぶりの開催

## 第13回 いしかわ県人祭 in 東京

2022年 10月28日(金)  
午後6時30分開会

会場 ホテル椿山荘東京  
バンケット棟5F「グランドホール椿」  
東京都文京区駒込2-10-8 TEL.03-3943-1111

石川づくしの料理・地酒で  
お楽しみください

ご参加の皆様全員に豪華景品が当たります

●会費(お一人)  
男性 10,000円 女性 7,000円  
学生 3,000円

お誘いあわせて参加ください。

お申し込みはFAX044-988-4901

事務局から

6月19日の“珠洲地震”には驚きました。群発地震が頻繁に起きることは聞き及んでいましたが、今回は“ドカーン”と驚かされました。ある時の意見交換会で、泉谷市長から「珠洲がすずと呼んでもらえるように知名度を上げてもらいたい」と吐露されたのですが、今回の地震のニュースで一挙に全国に知れ渡りました。当日小職の携帯電話にはメールが矢継ぎ早に30件以上にも。春日神社の鳥居倒壊は地震の大きさを物語っていますが、幸い人的被害が僅少とかで、安堵と感謝でした。

ウイズコロナで、飯田の燈籠山、各地のキリコ祭りが3年ぶりに再開されたようです。大手を振って帰省ができることが待ち遠しい限りです。

[東京奥能登応援団] 代表/光真 章 副代表/下平 康次